

連載01 音楽の旅は続く

ジャズボーカリスト
星乃けい

吉田拓郎、泉谷しげる、古井戸、ケメ…キヤー!

こんにちは、ジャズボーカリストの星乃けいです。「ジャズはあんまり興味ないんだよね」と思ったあなた!ちょっと待って!そんなあなたにこそ、私の音楽の旅物語を読んで欲しいな。というも、私はここ15年程ジャズをやっていますが音楽の出発はジャズではなく、シンガーソングライターだからです。このめぐ縁があり記事を書くことになりましたが、いただいたテーマは、出発地点からここまでの音楽の旅。そのスタートは遠い昔のことになります。何せギャラを貰って歌を唄うようになって、もう少しで50年!半世紀ですよ!まだ生まれてなかった方も、ぜひ昭和の音楽の世界にお付き合いくださいませ。

という事でスタートしますが私の幼少時代はあまり面白くないので、1974年5月「第7回ヤマハポピュラーソングコンテスト(通称:ポプコン)」にエントリーした時代から始めましょう。

このポプコンはヤマハ音楽振興会が年に2回開催するコンテストで、年に1度は全国大会があるアマチュアシンガーソングライターの登竜門でした。中島みゆきさんを始め数多くのアーティストを輩出したことで有名ですね。またこのコンテストをきっかけに作詞家、作曲家、アレンジャー、スタジオワーク、プロデューサー等に転身しこれまでの音楽業界を牽引してきた方々も数多くいます。今では考えられない程の影響を持ったコンテストでした。



▲「ポプコン」。ヤマハ音楽振興会が1969年から1986年まで主催したミュージック コンテスト。

そんな時代、私の暮らす福岡県は当時フォークソングのメッカといわれていました。博多では海援隊、チューリップが台頭し井上陽水さんも出てきました。当時、中学生だった私はひよんなことから入院をしたのですが、その病院の息子さんから「杉田二郎さん(戦争を知らない子供達、超名曲!)と友達です」と聞かされました。「ああ、フォークソングねえ」と今一つの私。なぜならその頃の私には、ひと世代前の反戦歌や社会へのメッセージソングを理解できなかったからです。でもなぜか気になって人気急上昇中のアーティストのコンサートに行ったのです。吉田拓郎、泉谷しげる、古井戸、ケメ…キヤー!面白い〜!とすっかりハマりました。彼らの音楽にハマったというより「自由に歌を作って、好きに唄って良いんだ!」ということにハマり、自分の中に無限の自由があって、それを発信しても良いことを初めて知りました。

子供のころから詩を書くのが趣味だったので、1万円を握りしめ(当時の私には大金!)早速に近所



Kei Hoshino

2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される

の楽器屋にギターを買いに行きました。「譜面は読めないしギターも買ったばかりだから、コード譜が付いた歌本も買わなきゃ」。そのギターでオリジナルが1曲できたので第7回5月のポプコンに応募しました。するとビックリ!、ピギナーズラックでしょう、この曲で九州大会まで行き最優秀歌唱賞を貰いました。これをきっかけに、あれよあれよと地元でのコンサート活動が始まりますが、いや〜これがまた大変でした。そのお話はまた次回に。(続く)



▲「戦争を知らない子供たち」1970年に発表、北山修が作詞し、杉田二郎が作曲した楽曲。